



絶好の運動会日和!

第55回志免町民大運動会

9月定例会

- 9年連続基金(貯金)取崩しなし
29年度一般会計決算 認定 2~3p
- 30年度一般会計補正予算 **可決**
2億4829万円増 4p
- 「望山荘」条例を廃止する条例 **可決** 5p
- 竪坑槽保存修理工事 **可決** 6p
- 8人が一般質問 12~19p

わが町のきらっとさん!

躍進おめでとう

見事、18位から5位へ

住民の輪が広がる

町内会

清々しい秋晴れのもと、第55回志免町民大運動会が開催されました。

サンリヤン町内会も、練習の成果を発揮すべく、大人も子供も一緒になって一所懸命汗を流し、親子リレーでは念願の一等賞を獲得することができました。応援テントでは競技結果に一喜一憂、昼食をみんなで



志免町応援のぼり

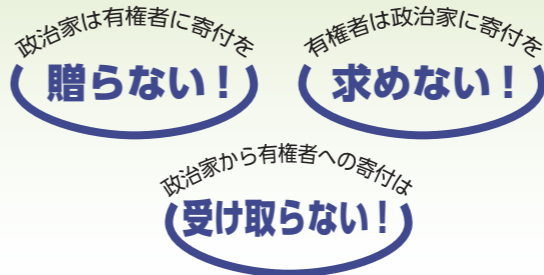


表彰式

楽しみ有意義な時間を共有できました。総合では一昨年に続き躍進賞を獲得することができました。みんなで大満喫しました。

志免町内では比較的若いサンリヤンではありませんが、今後も住民の輪を大切に「笑顔で活気あふれる住みよいまちづくり」を目指してまいりますのでよろしくお願ひします。(サンリヤン町内会長 記)

みんなで徹底しよう「三ない運動」
政治家の寄付は禁止
有権者が求めることも禁止



【議会広報特別委員会】

- | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|----|----|------|-----|-----|-----|-------|
| 寺田 | 野上 | 丸山 | 委員 | 吉田 | 副委員長 | 牟田口 | 委員長 | 大西勇 | 発行責任者 |
| 秀和 | 順子 | 真智子 | | 大作 | | 武史 | | 議長 | |

お知らせ

傍聴に是非お越しく下さい。

次回の定例会は
12月7日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です

メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

おおむね健全財政を保持

平成29年度決算 一般会計137億2880万円認定

9月
定例会

9年連続基金(貯金)取り崩しなし

賛成多数 可決

【賛成】 寺田、牟田口、安河内、吉田、助村、野上、丸山、牛房、古庄、二宮
【反対】 末藤

各町税収納実績
平成29年度糟屋郡
各町税収納実績
収納率を比較すると、志免町は95.80%で、現年度は郡内7町中5位、滞納分も5位、合計でも順位は5位。

平成29年度糟屋郡
各町税収納実績

町税の収入状況
決算額53億8831万円で、前年度より3575万円増。
収納率は95.80%で前年度を0.63ポイント上回っている。
不納欠損は1041万円で前年度より減少した。
※不納欠損とは
徴収できなくなった滞納分の徴収金を消滅させたこと。

実質収支
平成29年度の一般会計の実質収支額は4億9395万円の黒字。
9年連続、基金取り崩しは行っていない。

町債(借金)基金(貯金)
町債残高は119億4009万円(うち臨時財政対策債68億7346万円)。
年度末基金残高は53億7148万円。
※臨時財政対策債とは地方交付税の代わりに借り入れが認められ、後に全額交付税措置される。

財政の健全性
経常収支比率92.8↓90.3
※財政構造の弾力性を測定する比率。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいることを示す。
経常収支比率は前年度より数字的に2.5ポイント低くなり改善した。

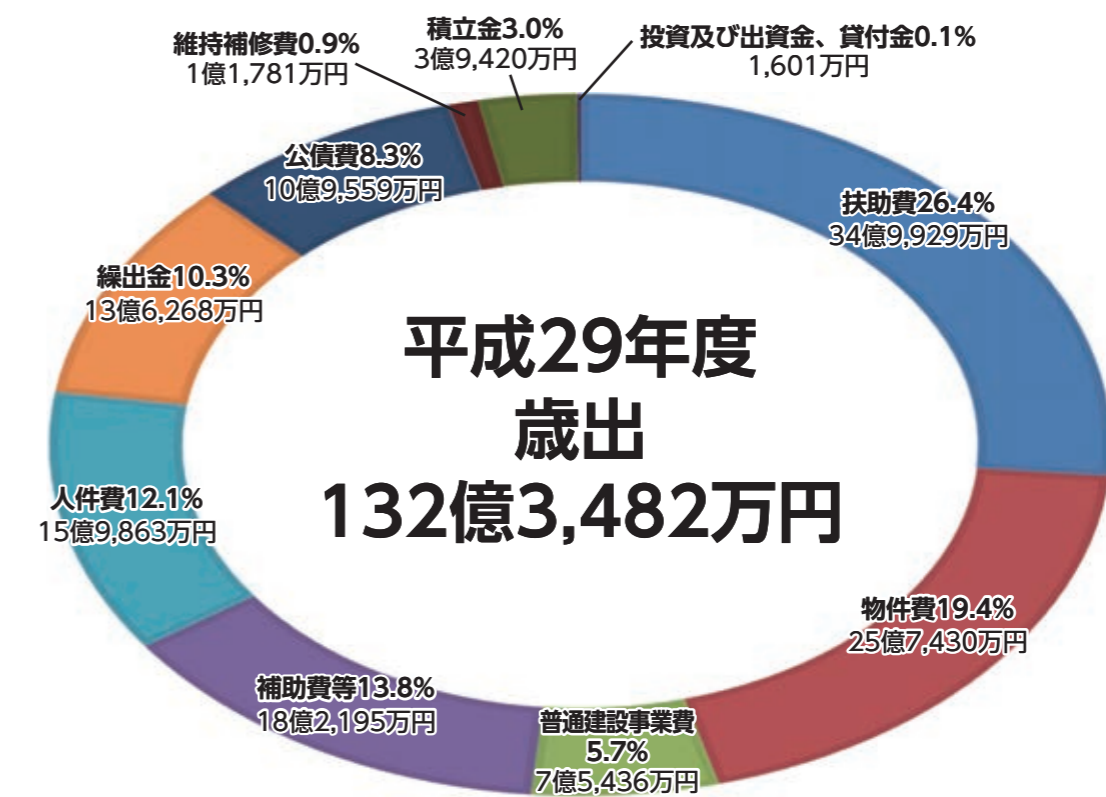
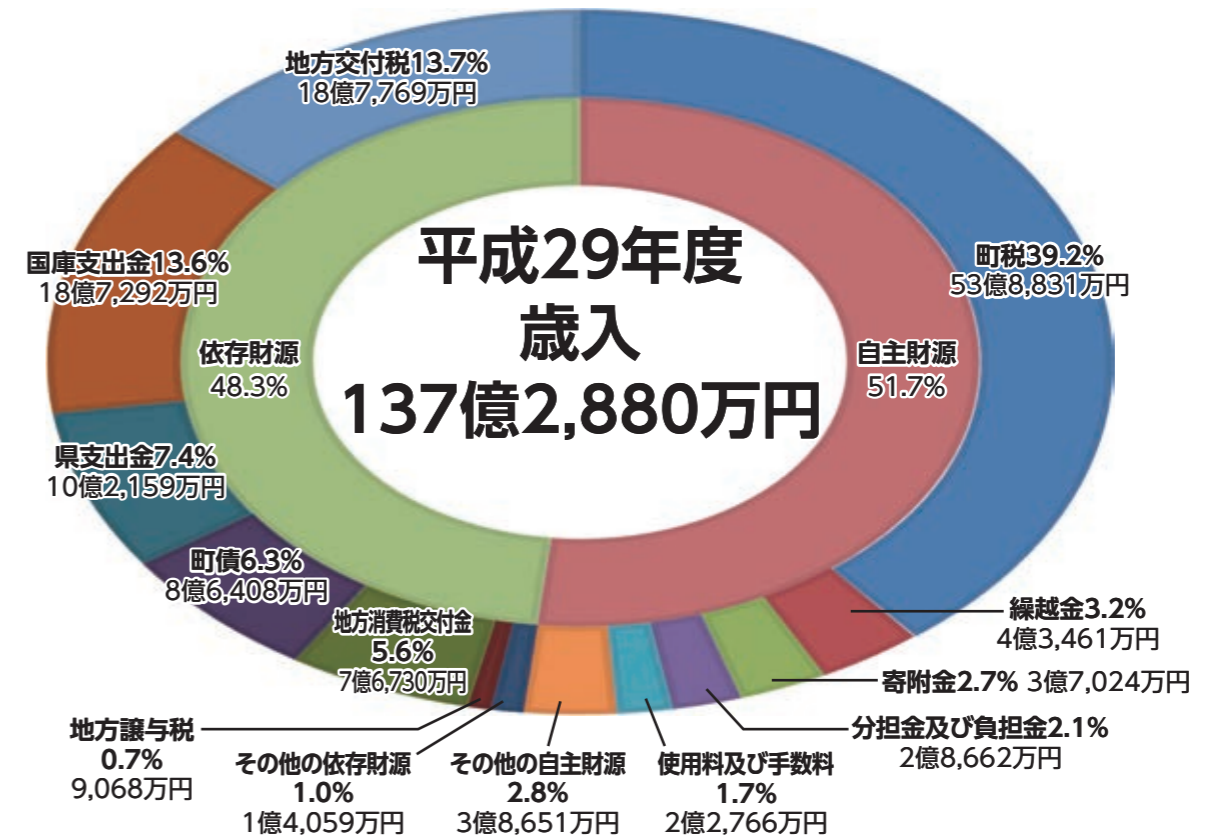
財政力指数0.73↓0.74
※地方公共団体の財政力を示す指数。指数が1.0に近づくほど財政力に余裕がある。財政力指数は前年度より0.01ポイント増加した。

平成29年度特別会計

- 住宅新築資金貸付事業…(歳入) 1296万円 (歳出) 42万円 (全員賛成)
- 国民健康保険 ……(歳入) 49億5321万円 (歳出) 50億3012万円 (全員賛成)
- 後期高齢者医療 ……(歳入) 5億8052万円 (歳出) 5億5545万円 (賛成多数)(反対 末藤)

平成29年度公営企業会計

- 水道事業会計 ……(歳入) 11億5719万円 (歳出) 7億9795万円 (全員賛成)
- 下水道事業会計 ……(歳入) 11億330万円 (歳出) 10億2150万円 (全員賛成)



決算特別委員会

委員長 寺田議員 副委員長 末藤議員 決算審査は特別委員会を設置し、審査を行いました。

※数値処理をしているため四捨五入などが一致しない場合があります。

9月定例会は、7日から26日までの20日間の会期で開かれました。議案14件を可決、人事案件1件に同意。選挙管理委員会委員及び補充員の選任に同意。意見書2件を否決。一般質問は、9月10日、11日の2日間で8人が行いました。

全員賛成で可決

2億4829万円増 総額137億8318万円

補正の主なもの

歳入

- **地方交付税** 6448万円増
地方交付税額の確定による 総額 18億509万円
- **自立支援医療費負担金（育成医療）** 221万円（国）増
18歳未満の障がい児童に対し、医療費の負担を軽減するため 111万円（県）増
- **県木製品等展示事業交付金（県交付金）** 44万円増
公共施設等に県産材を使用した木製品を展示するもの
- **財政調整基金繰入金** 4002万円減
基金繰入金返還

歳出

- **システム改修業務委託料** 701万円増
新元号に伴う情報システム改修のため
- **地域介護・福祉空間整備等補助金** 359万円増
既存高齢者施設等スプリンクラー整備支援事業 既存13施設は設置済、残り1施設分、全額国の補助金
- **防災マップ改訂業務委託料** 359万円増
志免町防災マップ改訂業務委託料
- **下水排水路整備工事** 1500万円増
志免中央四丁目地内水路改修工事

平成30年度特別会計補正予算

- **国民健康保険** ……………6658万円増 総額44億3097万円
療養給付費等負担金返還金等 （全員賛成）
- **後期高齢者医療** ……………1927万円増 総額5億9526万円
保険料等負担金等 （全員賛成）

条例

審査特別委員会を設置

全員賛成 可決

志免町高齢者福祉センター「望山荘」条例を廃止する条例の制定について

提案理由

昭和52年5月に設置された志免町高齢者福祉センター「望山荘」は、施設の老朽化が激しく大規模な修繕及び耐震化が必要な状態であるが、耐震工事を行うことが困難であり、利用者の安全を確保できないことから、平成31年3月31日をもって閉館するため本条例を廃止する。

町長と激しく議論

町長及び担当課からこれまでの経緯と老朽化の状況の報告を受けた。
3月31日までの利用者の安全をどう考えているのか。

現状を踏まえた緊急性についてどう考えているのかなど厳しい意見を受け、町長から議案撤回の申し出があり承認された。

町長から新たな提案

北海道地震を考慮すると一日でも早く閉館すべきと考え、10月13日をもって閉館したいとの理由で新たな議案として再上程された。

望山荘を視察 危険性の高さに驚く

視察提案もあり現場に行き、老朽化の現状について詳しい説明を受けた。



危険性が高い接続部分



むき出しとなった鉄筋

視察に同行した一級建築士の見解では、鉄筋のサビが建物全体に進行し、コンクリートの劣化と合わせて耐震化工事もできない可能性が高い。また増築された浴室部分は、既存の建物とは構造上別の建物で、地震の影響で建物にずれが生じ危険性が高いとの説明を受けた。

劣化の現状を目の当たりにし、危険性の高さに大変驚いた。

住民への説明をしっかりと行うよう要請

今後、望山荘の解体に向け協議し、早めに議会に提案し、跡地の活用についても意見を聞きながらしっかりと検討するとの答弁があった。

望山荘を利用されている方の気持ちを大事にして、閉館に対するご理解をいただけるように住民説明を行うことを強く要請。

これからの高齢者福祉についてしっかりと検討され、町民に示して頂きたい。



議長、副議長不信任案 否決

丸山副議長不信任案 賛成少数 否決

提出者 古庄 信一郎 動議賛成者 牟田口・野上・二宮
採決結果（無記名投票） 賛成4名 反対6名

望山荘の建物の老朽化と大変危険な状態を受け、今議会に望山荘条例の廃止が上程されたが、実は昨年十一月の厚生建設委員会で所管の福祉課から既にその窮状の報告を受け、議会での対応を切実に要請され、その後も求められたにもかかわらず全く無視。

そのような中、副議長の一般質問は水道事業等緊急性の無い質問。

委員会では3月6月議会と障害者・児童福祉サービスの民間業者の視察を強く誘導し、委員長報告。

全て副議長のパフォーマンス。望山荘問題は全く報告なし。

その間に大阪や北海道地震が発生。福岡であったらと考えただけでも恐ろしい。

副議長は永年同委員、委員長を歴任し委員会を指導し議長を補佐する立場なのに、町民の生命に関する重大な要請を無視し続けた行為と、さらに職員の心を逆なでした言動に謝罪もなく、緊張感、危機感のなさを助長する副議長の言動に異議を唱え辞職を求めた。

反対する議員は堂々とその理由を述べるべき。

30年度9月議会 主な議案

工事請負契約締結

重要文化財旧志免鋤業所竪坑櫓 保存修理工事 賛成多数 可決

賛成 寺田・牟田口・安河内・吉田・野上・丸山・牛房・古庄・二宮
反対 助村・末藤

鉄建建設株式会社

工事期間

平成30年10月から平成32年10月20日の予定

5億7942万円 (1/2は国の補助)



竪坑櫓

文化財修理保存工事の実績がある業者による指名競争入札、竪坑櫓の劣化の進行を抑制し、コンクリートを健全な状態に戻すための修理。

今回の契約は工事全体の85%で、建具工事、雑工事等の15%が残っている。

道路線の認定

全員賛成 可決

・路線番号 (8651)
路線名 志免201号線

志免東3丁目56-2番地先(吉原交差点)から田富3丁目49-1-1番地先(宇美町との町境)まで

68号線の代替道路である「都市計画道路 志免宇美線」が着手されたことに伴い、町に移管されることになったため町道認定するもの。



起点(吉原交差点)



終点(宇美町との町境)

大西議長不信任案 賛成少数 否決

提出者 古庄 信一郎 動議賛成者 牟田口・野上・二宮
採決結果（無記名投票） 賛成4名 反対6名

提案の背景、経緯は副議長不信任案と同じ。

議長は議会を代表し、議会の信用と信頼を失墜するような運営を排除する責務と問題解決に全力を傾注する義務がある。

ましてや議長も厚生建設委員会の委員。

しかし副議長同様望山荘問題は無視し続け、別のテーマに固執。

さらに今議会での一連の騒動に対し議長の指導、助言は皆無で議長の職責を全く遂行していない。

議長は議員の融和を強調するが、議会は仲良しクラブではない。

今回の事例は議員の危機感と緊張感を逸脱した事例で、そのような状況を醸し出している要因の一つに議長の姿勢、言動があり、これらを助長している。

不信任反対者は堂々と理由を述べ議論すべき。

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

教育振興基本計画について アンケートの取り方に改善を

教育大綱と連動すること
を基本とし、平成28年度から5年間毎年見直しを行う。

追加した所は、学力向上プランを基にした検証改善ロードマップの作成。
スクールソーシャルワーカーの相談回数を8回から10回に増。
委員より、体力の低下を言われているが、数値では5%上がっている。正しい数値を説明し、周知徹底すべき。

外国語教育について、先生の研修体制は充分なのか。
福岡市が行っている土曜授業を町でも研究してほしい。

厚生建設常任委員会

防災・減災について 風水害(台風)・地震災害に備えたタイムラインを策定

7月豪雨災害において、延べ15か所の避難所を設置し、最大95名の避難者があった。

町内の被害状況は、一般家屋被害はなく、道路冠水が6件、水車橋公園法面の一部崩壊、宇美川の護岸損傷、護岸クラック等の軽度の損傷20か所。
タイムラインとは災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を想定し共有したうえで「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動との実施主体を時系列で整理した計画で町内会長会議で配布した。

また3月には「志免町福祉避難所設置・運営マニュアル」も作成。
また、防災メール・まもるくんの登録件数は8月現在1288件。
登録の仕方などの周知徹底を強く要請した。

自分の周りに挨拶や相談ができない子どもが22%いる現状。
町全体であいさつ運動に取り組むなど、教育委員会部局と一緒にやって対策を取るよう提言。

子育て支援について 東学童を視察



東学童保育

全学童で定員420名のところ、470名で受入、運営事業者より安全面、支援面の負担が大きく対策を求められている。
申込率の上昇や、1学年単位の定員が大きいことを

アル」も作成。

また、防災メール・まもるくんの登録件数は8月現在1288件。
登録の仕方などの周知徹底を強く要請した。

交通安全施設整備と維持管理について

「道路転落等危険箇所対策計画」を策定し、対策工事を実施

道路からの転落等危険箇所については、計画を策定し、道路及び隣接する水路、側溝等の調査結果から判明した危険箇所について対策優先度を設定し、それに基



道路転落防止の対策工事

考慮すると、施設整備を含め検討しているとの報告を受け現状把握のため視察。

夏休みの地域子ども教室

学校施設の借用面で拡充できず、定員120名増の予定が47名増で開催した。予算も付け期待した事業だったため大変残念。組織の見直しも含めた検討が必要では。

学校における喫煙対策と災害対策について 早急な対策を取るよう強く要請

担当課より受動喫煙防止条例が可決され、来年度から学校敷地内は禁煙にする事を保護者や体育団体等に周知する準備をしているとのこと。
学校は教育現場、大人が堂々と喫煙する。教育上どうなのかなど多くの意見が



改修された東小学校校門

づき対策工事を実施している。

安全対策を急ぐ必要があるのではないかとこの質問に対し、冠水すると道路と水路の境目が確認できない所は内水対策などの工事と合わせて進めているとのこと。

障害者差別解消法の推進 パンフレット配布し周知

この法律は行政機関と事業者に対して、障がい者による差別をなくすための法律。
障がいのある人とは障害者手帳を持っている人だけではなく、難病など心身に障害のある人すべてが対象。

委員会として障害を理由として、商品やサービスの提供を拒否したり、制限したりする不当な差別的な取り扱いを禁止するもの、



広報しめに折り込まれたパンフレット

ズバリ町政を問う

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としていきます。

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として聞いたことです。質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。 ※質疑、答弁を理解するまで繰り返し方法

吉田 大作 議員 12P

①ライフラインは、水と電気

牛房 良嗣 議員 13P

①1人も落とすな全生徒合格へ

寺田 秀和 議員 14P

①電子黒板とタブレットの授業を

助村千代子 議員 15P

①ヘルプマークの周知啓発を
②支え合い町内会からでは

丸山真智子 議員 16P

①住民と孤食防止の取り組みを
②いじめ等の相談をSNSで

二宮美津代 議員 17P

①幸福度に注目する意義は
②家庭から食品ロスの削減を

古庄信一郎 議員 18P

①世利町政歳入増への取組は皆無

末藤 省三 議員 19P

①学校給食を無償化せよ

※桜は志免町花です

議会運営委員会

9月3日、平成30年第4回定例会について協議。決算については決算特別委員会、高齢者福祉センター「望山荘」条例を廃止する条例について、公共施設の廃止に関わる議案であり特別委員会で審査することとした。議場へのタブレット持込みが可能となった。閉会中の審議案件(1)議会報告会についての改善点として、昼間開催の必要性、案内チラシ等に災害時開会の有無の記載、動員等について。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

具体的に明確な協議事項はなく、9月定例会後は継続調査をしないことにした。今後、必要があれば協議が図れるよう設立する。

志免炭鉱ほた山対策特別委員会

8月27日、国鉄志免炭鉱ほた山開発推進協議会の総会が粕屋町で開催された。29年度決算は賛成多数で可決。30年度予算については、登山道整備工事費900万円に対して、これまでの方針に反する提案だといった意見、前年度総会で会長が行うとしていたボランティア団体との協議がなされていないといった反対意見が多く出された。須恵町の委員長より900万円を除いた修正予算案が提出され、この減額修正案が賛成多数で可決した。役員改正案も可決。協議会会長が粕屋町長から須恵町長に交替した。

意見書

意見書	提出者	内容	採決結果
主要農作物種子法の復活を求める意見書	末藤省三議員	種子法の廃止で、地域の共有財産である「種子」を民間企業に委ねた場合、改良された新品種に特許がかけられ、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなる等を懸念。復活を求める。	賛成少数 否決

賛成 吉田、丸山、末藤 反対 寺田、牟田口、安河内、助村、野上、牛房、古庄、二宮

意見書	提出者	内容	採決結果
国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書	牟田口武史議員	現憲法は70年余、一度の改正も行われておらず、この間、わが国をめぐる内外の諸情勢に大きな変化が生じている。国会で活発かつ広範な議論を推進し、国民的議論を喚起することを求める。	賛成少数 否決

賛成 寺田、牟田口、助村、古庄、二宮 反対 安河内、吉田、野上、丸山、牛房、末藤



牛房 良嗣 議員

1 人も落とすな全生徒合格へ 答弁／素晴らしい目標100%へ挑戦

牛房 平成25年6月の閣議決定で「中学3年生の英語力を英検3級程度以上とし、生徒の50%以上が指標を突破する」ように示された。平成29年度は全国平均40.6%福岡市が53.2%で目標突破。志免町は福岡市の半分以下の25.6%。教育委員会は校長と真摯に話し合われてきたのか。残念でならない。

町長 非常に危惧している。能力がないわけではない。もっと指導力を徹底し、目標達成に向けての取り組みを教育委員会と打ち合わせしたい。

教育長 英語だけでなく、全教科にもかかわりのある問題。
①小中連携授業の改善で対応。
②小中全校にALT（外国語指導助手）を配置。
③中学生全員にIBAテストを受験させ、授業改善を推進する。

牛房 福岡空港、博多港、天神街は変わっていく、福岡市は国際都市となっている。隣接している志免町にとっても、未来を担う子どもたちの育成は本当に大事。子どもたちが20年後に立派に花を咲かせるようなことを、身につけさせたい。町長、教育長に期待。

牛房 子どもたちは英語を学び話ができ、友だちをつくりたいと思っている。指標50%ではなく、100%目標で頑張っている。まず、幼稚園、保育園からスタートしている。①先生の英語力向上が決め手。中学校先生は準1級、小学校先生は英検2級以



英語検定の受験案内



吉田 大作 議員

ライフラインは、水と電気 答弁／自然エネルギー重要な役割

吉田 日本各地で甚大な被害をもたらしている自然災害、環境問題、エネルギーに関して、どう考えるか。
町長 自然エネルギーは重要な役割を担っていると思う。
吉田 町内には太陽光発電の場所があるが、何カ所か。
生活安全課長 5カ所の公民館、中央小学校、水車橋公園など40カ所にある。

吉田 今後も頻発する事が予想される自然災害、太陽光や電気自動車などエネルギーに関する部署を設けてみては。
町長 その問題については、全庁的な取り組みとして、しっかりと検討していく。
吉田 太陽光発電の設置費用は。
生活安全課長 約2500万円、余剰電力として発電も行っている。

吉田 中央小学校の太陽光発電はどうなっているか。
学校教育課長 平成20年度に設置し、夏場は1300kw、冬場は350kw発電している。
吉田 シーメイトには太陽光、太陽熱、風力の3つの自然エネルギーシステムが備わっている。その設置費用は。
福祉課長 シーメイトの風呂、館内の給油など。
吉田 現在、太陽熱利用システムは半年以上故障しているが、支障はないのか。
福祉課長 今のところ、影響はない。

吉田 太陽光の蓄電システムをご存知でしょうか。
福祉課長 今のところ、影響はない。
吉田 現在、太陽熱利用システムは半年以上故障しているが、支障はないのか。
福祉課長 シーメイトの風呂、館内の給油など。
吉田 太陽熱利用は何の為に設置され、どのように役立っているのか。
福祉課長 平成16年4月1日に設置、始動。費用は1312万円（半分は補助金）。
町長 知らない。
吉田 溜めておいた電気を停電時などに供給できるシステム。公民館等に導入されては。
町長 （可能であれば）設置の方向で検討する。



蓄電は次世代エネルギーシステムの鍵

電子黒板とタブレットの授業を 答弁／前向きに検討する



寺田 秀和 議員

寺田 ICT教育について
取り組みの成果指標の現
状、目標値とは、何を基準
に100%なのか。

学校教育課長 各学校の児
童、生徒への情報モラルな
どの学習会の実施率。

寺田 モラル教育に関して
どのような教科を視野に入
れているのか。

学校教育課長 インター
ネットや、スマホや携帯の
扱い方、使い方のルール、

マナーについて行って
いる。

寺田 電子黒板の設備状況
は、小学校が4校、中学校
が2校あるが、全校に行き
渡っているのか。

学校教育課長 大型提示装
置を各学校、小中学校に1
台ずつ平成28年3月から設
置をしている。

寺田 学年、学級で電子黒
板を使って、こういった方
法で授業をされているの
か。

学校教育課長 教員が教材
をわかりやすくするため
に、画像の拡大や音声、動
画などを活用している。

寺田 電子黒板を使って学
習した後で、先生方の意見
を聞かれたことがあるか。

学校教育課長 ICT支援
員の配置など要望が上がっ

ている。

寺田 電子黒板の台数を増
やすことを、考えているの
か。

学校教育課長 台数は今後
検討していく。

寺田 タブレットを使って
学習することを考えている
のか。

学校教育課長 タブレット
端末は、小・中学校、各校
10台と数は限られている
が、無線LANの環境も
整っている、全教室で使用
できる。

寺田 電子黒板とタブレッ
トを率先して取り入れてい
くのか。

学校教育課長 今後もでき
る限り活用したい。

寺田 平均的な教育をする
ためにICT教育に力を入
れて、今後どのような取り
組みをされるのか。

町長 電子黒板等について
は最低限各学年に必要では
と考えている。

前向きに検討したい。
ICT教育が進むので
は、早期に導入を考えたい。



中学校のタブレット活用授業

ヘルプマークの周知啓発を 答弁／多くの住民に伝えていきたい



助村 千代子 議員

助村 ヘルプカードは障害
のある方や、外見からは障
害や不自由に気づかれにく
い方などが困っている時、
周りの人が気づくことがで
きるよう普段から身につけ
ておき、災害時や日常生活
の中で困った際に周囲に支
援を求めるきっかけを作る
カードです。

ヘルプカードの認識と住
民への周知は。

福祉課長 効果的に使う必
要があると認識している。
周知までは至っていない

い。

助村 皆がカードの意味を
知らなければ役に立たな
い。
周知啓発を行うべき。

福祉課長 まずは各種団体
等に、カード配布を行い積
極的に住民に伝えていき
たい。



ヘルプカード

支え合い町内会からでは 答弁／基本だと認識している

助村 介護保険制度改正に
よる、総合事業及び生活支
援と介護予防を本気で進め
ていくのであれば、町民全
体が地域包括ケアシステム
の意義、背景を正しく理解
認識しなければ進まない。
住民に対して説明周知は
行われているのか。

福祉課長 周知啓発のため
26年度から「地域包括ケア
システムをみんなで作る
う」講演会を開催。
参加者からの声で、29年
度から住民交流会を校区ご
とに開催し、住民の方に伝
え、繰り返し説明している。

助村 わかっている方
は、全くわかっていない方
は、全体的にわかっていない
か。周知の行い方が必要な
か。

福祉課長 隅々までの理解
は、全体的にわかっていない
か。周知の行い方が必要な
か。

福祉課長 隅々までの理解

住民と孤食防止の取り組みを 答弁／出来るのではないのか



丸山 真智子 議員

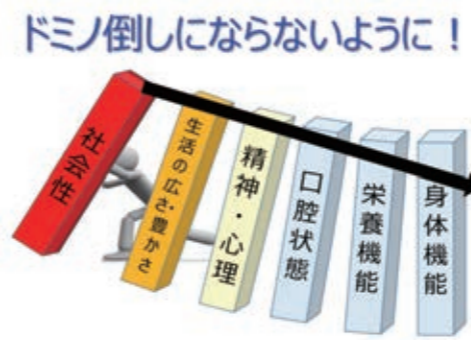
丸山 ニッポン一億総活躍プランに盛り込まれたフレイル対策とは何か。
健康課長 フレイルとは老年医学の分野で虚弱。予防対策は栄養、運動、社会参加の3つがある。

丸山 住民の認知度が低いのでは。
健康課長 うきうきルームなど介護予防事業の中で実施している。

丸山 社会参加では独居であることより、一人でご飯を食べる孤食がリスクになるとのこと。
例えば小中学校の給食と一緒に食べるなどできないのか。

町長 できるのではないのか。

丸山 筑波大などの研究チームがまとめた結果では、近所付き合いがないなど社会的につながりが弱い高齢者は、介護が必要に



フレイル(虚弱)の予防

なったり死亡したりするリスクが、そうでない人よりも約1.7倍高いとする調査結果が出ている。
町民を巻き込み、フレイルチェックをするサポートを養成したらどうか。

町長 できれば進めたい。

いじめ等の相談をSNSで 答弁／実施は難しい

丸山 プランの中のフレイル対策として、身近な場での住民主体による運動活動や会食、その他の多様な社会参加の機会を拡大するとある。

町長 前向きに取り組むを。

丸山 鹿児島で始業式後に男子中学生が自殺。

いじめ、自殺予防には相談しやすい体制づくりが一番。
志免町には子どもの権利相談室があるが、相談件数は何件か。

子育て支援課長 平成29年度は新規相談が11件、継続の相談が17件。

丸山 相談できなければ悩

丸山 相談できなければ悩

みは深刻化する。
いじめ自殺が起きた大津市ではLINEの相談件数が5倍になった。
アプリ活用の検討は。

子育て支援課長 LINEなどSNSの活用は職員の体制、言葉に残る形になるので実施は難しい。

その他の質問
志免音頭の継承

幸福度に注目する意義は 答弁／心の豊かさへの重視



二宮 美津代 議員

二宮 町民意識調査で幸福度が数値化されている。施策にどう反映されているか。

経営企画課長 主観的幸福度調査であり、各施策ごとの評価や直接的な分析はむずかしい。

二宮 幸福度に特化した計画はあるのか。

経営企画課長 計画はない。

二宮 健康や家族関係については幸福実感は高い数値が出ています。
大事な地域のつながりの項目は低い。
町全体の課題とし計画すべき。

町長 もっと地域のつながりを重視し、取り組みを検討したい。

二宮 数値を他市町と比較する意味は。
県との比較についてはどうか。



町民意識調査

経営企画課長 幸福実感アンケートの設定が県と同じで比較しやすい。
他市との比較は違った視点で分析できると思う。

家庭から食品ロスの削減を 答弁／実際の取り組みを行う

二宮 食品ロス削減への取り組みは色々行われているが、実際のな指導方法について調査、検討はされたか。

二宮 取り組みの結果を示し、その成果を上げることが大事では。

生活安全課長 消費者庁の取り組み状況調査資料をもとに、他市町の状況を見ながら検討したい。

二宮 消費者庁は実際のな指導方法を示し、削減の数値も出している。

町長 消費者庁の資料の検討も含め、成果を上げる方針を進めていく。
その他の質問
住民サービスの向上について

生活安全課長 色々な取り組みの中で、住民の方々に食品ロス削減への意識向上のきっかけづくりを行う。

働き方の多様化も含め、役場の定時内に来庁できない、休みが取れない方々も多くなっている。
受付時間の延長などの方策は考えられないか。



末藤 省三 議員

学校給食を無償化せよ

答弁／第2第3子について調査する

末藤 文科省が全国の自治体の学校給食無償化の調査を行ったが結果について。
学校教育課長 学校給食無償化の自治体が76校、一部無償化としている自治体が、424ある。
末藤 全国で給食無料化が進んでいる。
この中の一町長は、憲法の理念に一步でも近づけるのが自治体の長の務めだと、このような考えのもとに無償化に踏み切ったと答

末藤 文科省の発表によると子どもの学習費調達、小学校で年間10万円、中学校で18万円、さらに給食費が上回ってくる。
学校教育課長 小中学校の義務教育は無償となっている。



小学校の給食

丸山副町長 総合的にいろいろ判断して、学校教育課の方といろいろ協議している。
末藤 日本国憲法26条では小中学校の義務教育は無償とするとなっているが。
学校教育課長 小中学校の義務教育は無償となっている。

末藤 文科省の発表によると子どもの学習費調達、小学校で年間10万円、中学校で18万円、さらに給食費が上回ってくる。
学校教育課長 小中学校の義務教育は無償となっている。

末藤 文科省の発表によると子どもの学習費調達、小学校で年間10万円、中学校で18万円、さらに給食費が上回ってくる。
学校教育課長 小中学校の義務教育は無償となっている。

世利町政歳入増への取組は皆無

答弁／職員一体となって考える



古庄 信一郎 議員

古庄 抑制・縮小・均衡だけを目指す町に魅力はない。これからの地方自治体は一個の経営体の考えを持って前向きに展開すべきで、その為には歳入増への積極的な取り組みが求められるが、3年半の世利町政では全く感じられない。
町長 私は歳入に見合った歳入の考えで、歳入増はそんなに伸びていない。
古庄 29年度の税収増額の約8割が、9号法人9社で

古庄 29年度の税収増額の約8割が、9号法人9社で
納税者1人当たりの課税所得額も減。
創業や事業拡大の支援は、全て民間の企画事業。
特に志免町の産業別生産額の8割以上は第3次産業で、これを束ねているのが商工会で、商工祭り・しー

古庄 地域未来投資促進法対応も古賀市は大々的に推進している。
志免の工業団地他にも膨大な空き地がある。
全国自治体の8割は税収対策に首長のトップセールスによる企業誘致を挙げて

町長 職員一丸となって考えていかなければと思う。
今これらへの対応を考えなければ。
全課挙げての税収アップへの意識改革と、組織改革をすべき。



志免町商工まつり

古庄 しごと創生総合戦略の基本では「来町及び定住を促進し、税収を上げる」としているが、20代30代の合計人数は26年比、1300人も減。
納税者1人当たりの課税所得額も減。
創業や事業拡大の支援は、全て民間の企画事業。
特に志免町の産業別生産額の8割以上は第3次産業で、これを束ねているのが商工会で、商工祭り・しー

町長 広報や施設の利用等広報支援をしている。
古庄 机上の空論ではなく、きちんと参画すべき。
古庄 地域未来投資促進法対応も古賀市は大々的に推進している。
志免の工業団地他にも膨大な空き地がある。
全国自治体の8割は税収対策に首長のトップセールスによる企業誘致を挙げて

町長 積極的な活動をすすめる。
古庄 福岡空港拡張、粕屋酒蔵駅周辺の開発、粕屋中学校周辺の大規模開発等、狭い我が町周辺では大規模な開発と計画が進んでいる。
町長 積極的な活動をすすめる。

第9回

議会報告会を

開催しました

7月8日 東小校区(東区公民館)



7月8日 中央小校区(志免四公民館)



7月5日 南小校区(吉原公民館)



7月5日 西小校区(鏡共同利用施設)



アンケート (ご意見・ご要望)

No.	報告の質疑	答 弁
1	福祉サービス事業所マップについて、吉原地区に「こども発達支援ルーム」があるのを初めて知りました。どういう事をして、どこにあるのか。	委員会で視察に行きましたが未就学児で発達が心配な子どもたちを預かり、社会に順応するよう療育を行う施設で事業としては国・県・町が補助しており自己負担もある。
2	通学路について(サンリヤン町内会の方) 毎日、150人~200人の児童が通っている、道幅が狭く横断歩道も設置できない。福岡市側から自動車は抜け道として使われている(30分で70~80台)。進入禁止や一方通行、時間制限をかけてもらいたい。町と警察で話をすれば町内の意見はなくてもできるという事例もある。	一方通行については、地元の反対でできないという状況もある。今後も委員会で伝えていきたい。一方通行などについては、道路のすべて方の同意がないと実施できないという認識なので、同意がなくてもできるのかどうか研究させてもらいたい。
3	これから少子高齢化社会に向い税収が期待できない中で堅坑櫓が去年から予算増となっているが、そのビジョンや中期計画はあるのか。今後どうなっていくのか。	改修工事は10月位から始まる。重要文化財なので国主導で半分国負担で半分は町が負担、今後の維持管理経費については議会ですっかり審議していく。
4	学童保育の待機児童は今すぐにでも無くなるように、優先的に予算をつけるべき。	議会、委員会でも長年課題にしてきて多くの提言・提案も行っている。町長も町内会長会に放課後の子どもの居場所の対策について、相談をお願いをしている。また、委員会ではNPOや学童保育を行っている専門事業者に依頼や募集等できないか提言を行っている。平成35年からは児童は減少するとのデータがでている。
5	志免東中学校の運動場のネットをまだ改善していない。	昨年の議会報告会を受けて、委員会で学校教育課と共に現地視察を行い現状の把握と対策について検討を行ったが、来年から野球のボールが変わるので、現在問題の箇所だけの改修ではなく、抜本的な改修が必要。

60代

議会だよりをしっかり読まなくては、自分達の町は自分達の手で支えなくてはと強く思いました。これからも参加したい。

70代

語ろう会はよかった。報告は少し考えてほしい。

40代

いろいろな意見を聞くことができ、話せてよかった。

70代

巡回バスを増便してほしい。30代で居住し70才になって運転も無理。

50代

志免町の内容がわかった。予算のこと、議員からの話が参考になった。

50代

普段は直接に話をする機会がないが要望や質問などに対応していただき、もっと多くの方が参加されるようにPRや周知の方法など検討することが必要。

70代

語ろう会で議員と話しができ大変よかった。

70代

女性議員4人いるのに1人もいなかった。色気がなかった。

80代

意見を出し通しの人っていて、自分の意見を出しにくかった。

60代

町民のための議論をしてほしい。

40代

初めて参加しました(町在住8年目)。議員の顔も名前もわかりませんが、いろいろな意見交換ができた。また参加したい。